

平成30年度の活動予定

①平成30年度の部会活動総括

新潟県部会	P 1～P 3
富山県部会	P 4～P 7
石川県部会	P 8～P11

平成30年 2月 1日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

平成30年度の活動予定

【新潟県部会】

平成30年 2月 1日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会
(新潟県部会)

◆ 大学・高等専門学校カリキュラムに連続講座を開設

	長岡技術科学大学	長岡工業高等専門学校
科目名	建設社会基盤工学論	環境都市工学演習
対象	調整中	3年生
学期	前期	前期
概要 (予定)	◆ 北陸地方における防災と社会資本整備 ◆ 信濃川における治水について ◆ 他 調整中	◆ 社会資本整備 ◆ 河川の管理 ◆ 道路の歴史と役割 ◆ 他（H29実施内容と同内容で検討中）

◆ 建設系高校における講座の開設等

- 地域の歴史的物語講座、建設界の紹介、体験談の紹介、土木施設の役割など、協議会関係機関が連携して講座を開設
- 地域で特色のある工事現場、橋梁点検現場などの見学や地質調査実習
- 文化祭への出展の協力

建設系学生・生徒への活動【インターンシップの充実】（新潟県部会）

◆ 建設系学生・生徒へのインターンシップ

- 対象学生：建設系学科の学生・生徒（大学・高等専門学校・高等学校）
- 実習時期：概ね7月～10月の範囲
- 実習場所：県内の企業、官公庁
- 実習内容：目的：実践的な職業知識や技術・技能の習得、期間：実施機関と調整
- 実施機関：建設コンサルタンツ協会、新潟県、新潟市、北陸地方整備局
- ※ 協議会として連携を図り、新潟県教育委員会から各高校へ情報提供を実施
その他、企業等が個別にインターンシップを実施予定。

◆ 中学生の職場体験

- 対象：中学生
- 内容：建設業の職場体験の受入

◆ キャンプ砂防（北陸地方整備局）

- 目的：中山間地域の現状を実際に体験できる場を全国の学生に提供し、地域の抱える問題点、活性化の支援のあり方、防災対策のあり方を学び、中山間地域における砂防の意義・役割を考える。
- 対象学生：砂防を専攻する大学生、又は砂防に関心を持つ大学院・大学・高専の学生
- 実習時期：概ね7月～9月の1週間程度
- 実習場所：北陸地方整備局管内砂防事業所管事務所



建設系学生・生徒への活動（新潟県部会）

◆ 地質調査実習（新潟県地質調査業協会）

塩沢商工高等学校建設系科目履修の3年生を対象に地質調査をテーマに実習を行う。

◆ 上越地域の建設系高校を対象に各機関が連携して仕事講座及び現場見学会を実施（新潟県建設業協会、新潟県（上越及び糸魚川地域振興局）、高田河川国道事務所）

対象：上越総合技術高等学校環境土木科2年生

高田農業高等学校農業土木科2年生

海洋高等学校水産科1年生

◆ 橋梁点検実習（長岡国道事務所）

塩沢商工高等学校3年生を対象に橋梁補修をテーマに実習を行う。

高校・中学・小学校（保護者や教員等含む）等への取り組み（新潟県部会）

◆ 県立専門高校メッセ（新潟県教育委員会）

中学生に専門高校や専門学科に対する理解を深める機会を提供する、「県立専門高校メッセ」を支援。

平成31年10月26,27日に「全国産業教育フェア」が予定されていることからプレイベントとなる。

○日 時：平成30年8月7日 ○会 場 未定

○対 象：中学生・保護者・教員及び高校生

○内 容：専門高校による発表・展示・体験

県内大学による大学案内及び県内専門学校による学校案内

ものづくり技術の紹介等による県内就労に関する啓発

◆ 保護者対象の現場見学会及び意見交換会実施

高校OB等若い技術者の参加を呼びかけ、意見交換会については発言しやすいように少人数の班形式など進め方を工夫。

○日 時：平成30年秋 ○会 場 阿賀野川河川事務所管内 他

○参加者：新潟工業高校在校生保護者

○内 容：建設現場における土木・建築系教諭の研修、普通高校教諭への建設界理解促進、建設界に対する教育関係者との意見交換

◆ 小学生を対象にした「出前講座」、「現場見学会」

（新潟県、新潟県建設業協会、日本道路建設業協会北陸支部）

県内全域の小学校を対象として実施予定。

◆ 小学生及び小学校教職員向け出前授業の案内パンフ配付

（北陸地方整備局企画部）

新潟市内の小学校向けに出前授業の案内パンフを配付

小学生向けの出前授業のコーディネートや教職員向けの建設業説明会を実施予定



平成30年度の活動予定

【富山県部会】

平成30年 2月 1日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会
(富山県部会)

◆ 大学カリキュラムに連続講座を開設 (北陸地方整備局)

富山県立大学		
対象	1年生	2 + 4年生
学期	前期	前期
概要 (予定)	◆ 座学+現場見学	◆ 座学+現場見学



富山県立大学1年生による連続講座の様子

◆ 建設系高校における講座の開設等 (北陸地方整備局・富山県・富山県建設業協会 等)

富山工業高校					桜井高校		
対象	3年生	1年生	2年生		3年生	1年生	2年生
学期	2学期	2学期	2学期		1学期	2学期	2～3学期
概要 (予定)	◆ 現場見学 (建設業協会)	◆ 現場見学 (埋立浚渫協会) ◆ 講座 (建設業の魅力と役割)	◆ 現場見学 (建設業協会) ◆ 講座 (インフラの歴史と役割)		◆ 現場見学 (建設業協会)	◆ 現場見学 (宇奈月ダム) ◆ 講座 (建設業の魅力と役割等)	◆ 現場見学 (海岸工事) ◆ 講座

高岡工芸高校				南砺福野高校			
対象	3年生	2年生	2年生	1年生	1・2年生	1・3年生	2・3年生
学期	1学期	1学期	2学期	2学期	1学期	2学期	1学期
概要 (予定)	◆ 現場見学	◆ 現場見学 (建設業協会)	◆ 現場見学 (建設業協会) ◆ 講座 (建設業の魅力と役割)	◆ 講座 (建設業の魅力と役割)	◆ 現場見学 (利賀ダム)	◆ 現場見学 (建設業協会)	◆ 現場見学 (建設業の魅力と役割)

※その他、関係機関個別に現場見学等を実施予定。

- 1 -

建設系学生・生徒への活動 【インターンシップの充実】

平成30年度の活動予定
(富山県部会)

◆ 建設系高校生へのインターンシップ

- 対象学生：建設系学科の高校生
- 実習時期：概ね7月～10月
- 実習場所：県内の企業、官公庁
- 実習内容：勤労観・職業観の育成、就業体験
- 実施機関：建設コンサルタンツ協会、県建設業協会、測量設計業協会、北陸地方整備局
- ※ 従来の業団体との連携に加え、協議会として連携を図り、インターンシップを充実

◆ 高校生を対象としたSABO体験楽校 (北陸地方整備局)

県内の高校生を対象に、砂防現場の実体験や工事施工に携わる人々との交流を通じ、学校の授業では得難い砂防の工事を実際に体験。

- 対象学生：富山県内の高校生10名
- 実習時期：夏休み中2泊3日
- 実習場所：北陸地方整備局 立山砂防事務所管内

◆ キャンプ砂防 (北陸地方整備局)

- 目的：中山間地域の現状を実際に体験できる場を全国の学生に提供し、地域の抱える問題点、活性化の支援のあり方、防災対策のあり方を学び、中山間地域における砂防の意義・役割を考える。
- 対象学生：砂防を専攻する大学生、又は砂防に関心を持つ大学院・大学・高専の学生
- 実習時期：概ね7月～9月の1週間程度
- 実習場所：北陸地方整備局管内砂防事業所管事務所

◆ 県内大学・専門学校生等へのインターンシップ
(富山県インターンシップ推進センターとの連携)

- 富山県内の大学・専門学校が加盟する富山県インターンシップ推進センターと連携を図り、インターンシップ情報・活動の充実を図る。

※平成29年12月の新システム移行に伴い、平成30年度登録に向けては調整中

SABO体験



山腹工体験



情報化施工体験

キャンプ砂防



コンクリート打設体験



富山県インターンシップ推進センターHP

普通高校・中学・小学校（保護者や教員等含む）等への取り組み

平成30年度の活動予定
(富山県部会)

◆ 社会に学ぶ 14歳の挑戦（富山県教育委員会）

行動領域が広がり活動が活発になる中学2年生が、1週間、学校外で職場体験活動や福祉・ボランティア活動等に参加することにより、規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方を考えるなど、成長期の課題を乗り越えるたくましい力を身につけることを目指す。

- 時 期：地域や学校の実情等を踏まえて設定
- 期 間：1週間（実際の活動は土日を除く5日間）
- 対 象：県内全公立中学校で実施



冊子：14歳の挑戦

◆ 立山カルデラ砂防体験学習会（富山県立山カルデラ砂防博物館）

立山カルデラを実際に訪れ、自然・歴史と砂防を自分の目で確かめる。

- 日 時：7月～10月秋
- 参加資格：小学3年生以上（小学生は保護者同伴）。
- 内 容：立山カルデラまでの移動手段として、立山砂防事務所の砂防工事専用軌道のトロッコ列車を利用するコース。立山カルデラまでの移動にバスを利用するコース。
本宮砂防えん堤、護天涯の碑・噴泉、白岩砂防えん堤を巡る（文化遺産巡りコース）
白岩砂防えん堤を見学後、常願寺川下流の大転石などを巡る（常願寺川流域コース）



立山カルデラ砂防体験学習会の様子

◆ 県政バス教室の実施（富山県）

子ども達を対象とした県政バス教室「富山どぼく発見！ツアー」の開催を予定。

◆ 土木事業を紹介する小冊子の作成（富山県土木部）

各種の土木事業を紹介する小冊子「とやまの土木」を作成し、県内全ての学校へ配布。



- 3 -

普通高校・中学・小学校（保護者や教員等含む）等への取り組み

平成30年度の活動予定
(富山県部会)

◆ 市民現場見学会の実施（日本建設業連合会 北陸支部）

大学生や高専学生の夏季休暇期間（7月～9月）に現場見学会を予定。

◆ 建設コンサルタントをPRする冊子の配布（建設コンサルタンツ協会北陸支部）

建設コンサルタントの「仕事と魅力」の理解促進を図る「社会貢献活動」の一環として、北陸支部管内の小学校、中学校へ「出前講座」のチラシ等を配布予定。



第8回 とやま建設フォトコンテスト 特選

◆ 「とやま建設フォトコンテスト」（県建設業協会）

広く一般の方々を対象に、建設業に関心、理解を深めてもらうための広報として写真を募集・表彰
募集期間：10月～翌1月



富山市長岡小学校での測量教室
「地図教室と測量体験学習」

◆ 富山県立大学 ダ・ヴィンチ祭への出展

（建設コンサルタンツ協会北陸支部、県測量設計業協会）

◆ 小学校での測量教室の開催（県測量設計業協会）

国土地理院北陸地方測量部の協力を得て地図教室と測量教室を実施予定。実習では測量機器の説明・実習のほか、身近なものを利用して「測る」知恵を学んでもらう。



親子現場見学会の様子

◆ 現場見学会の実施（県建設業協会、県地質調査業協会）

小学生や生徒の保護者を対象に現場見学会及び子供防災教室等を実施予定。

◆ 女性も活躍する建設業界に向けた情報発信・環境改善

女性の視点で発掘した建設業の重要性や魅力をPRするためのパンフレット「TSUKURU」（H28年度作成）を配布。（富山県・県建設業協会）



TSUKURU 目次

◆ 講座、研修の充実（県建設業協会）

① 就職直前技能向上研修

次代を担う若者に対しスムーズな入職と定着の促進を図るため、理解が深まるよう就職直前技能向上研修を企画・検討

② 新入社員フォローアップ研修

生活環境の変化と業務に追われる毎日から、悩みや不安を解消できず自分を見失いがちにならないよう新入社員フォローアップ研修を充実。

③ 建設業資格取得支援講座

土木施工管理技術検定試験や建設業経理士試験の取得に対し、試験直前の対策講座を実施。建設業への魅力や仕事に対する理解を深めてもらい、担い手確保を促進。



就職直前技能向上研修



新入社員フォローアップ研修

平成30年度の活動予定

【石川県部会】

平成30年 2月 1日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会
(石川県部会)

◆ 大学・高等専門学校カリキュラムに連続講座を開設

	金沢大学		金沢工業大学		石川工業高等専門学校
対象	1年生	3年生	1・2年生	3年生	1年生
学期	前期	後期	後期	—	前期
概要 (予定)	◆ 現場見学・意見交換会	◆ 特別講演会 (建設界連携による公共事業の進め方)	◆ 現場見学・座学 (反転授業)	◆ 「進路セミナーⅠ」 (建設界の紹介・魅力・特徴等を紹介)	◆ 現場見学・意見交換会

◆ 建設系高校における講座の開設等

	小松工業高等学校		金沢市立工業高等学校		羽咋工業高等学校		翠星高等学校
対象	全学年	2年生	1年生	2年生	2年生	3年生	2年生
学期	1学期	2学期	1学期	2学期	2学期	1学期	1学期
概要 (予定)	◆ 現場見学	◆ 講座 (建設業協会との意見交換)	◆ 現場見学	◆ 座学 (建設業協会との意見交換)	◆ 講座 (建設業協会との意見交換)	◆ 現場見学	◆ 現場見学

※実施時期・実施内容等は受け入れ先の現場条件等により変更がある場合があります。
その他、関係機関個別に現場見学等を実施予定。

◆ 工業高校生との意見交換会（県建設業協会）

建設業の現状、高校生が実際の仕事をどのように感じているか、会社に対する期待などについて意見交換会を実施

◆ 高校向け実習等への講師派遣（県測量設計業協会）

石川県高等学校ものづくりコンテスト、石川県高等学校測量技術コンテスト等に講師を派遣

建設系学生・生徒への活動【インターンシップの充実】（石川県部会）

◆ 建設系高校生へのインターンシップ

- 対象学生：建設系学科の高校生
- 実習時期：概ね7月～10月
- 実習場所：県内の企業、官公庁
- 実習内容：勤労観・職業観の育成、就業体験
- 実施機関：建設コンサルタンツ協会、県建設業協会、測量設計業協会、北陸地方整備局
- ※ 従来の業団体との連携に加え、協議会として連携を図り、インターンシップを充実

◆ 工業系高校生の派遣研修（県建設業協会）

- 資格取得のため、工業系高校生を富士教育訓練センターへ派遣

◆ 建設系大学生・高等専門学校生へのインターンシップ

- 対象学生：建設系学科の大学生・高等専門学校生
- 実習時期：概ね7月～10月の範囲
- 実習場所：県内の企業、官公庁
- 実習内容：目的：実践的な職業知識や技術・技能の習得
期 間：実施機関と調整（※金沢河川国道事務所の実施例（H29実績）→1週間～3ヶ月間）
- 実施機関：建設コンサルタンツ協会、県建設業協会、石川県、北陸地方整備局



◆ キャンプ砂防（北陸地方整備局）

- 目的：中山間地域の現状を実際に体験できる場を全国の学生に提供し、地域の抱える問題点、活性化の支援のあり方、防災対策のあり方を学び、中山間地域における砂防の意義・役割を考える。
- 対象学生：砂防を専攻する大学生、又は砂防に関心を持つ大学院・大学・高専の学生
- 実習時期：概ね7月～9月の1週間程度
- 実習場所：北陸地方整備局管内砂防事業所管事務所

- ◆ 「市民現場見学会」を石川、富山方面で開催を検討(開催時期は夏季休暇期間を検討)

複数箇所においても見学会の企画・実施運営も検討していく

(日本建設連合会北陸支部)

- ◆ 北陸支部管内の工業系9大学11学部へPR冊子「建設コンサルタント」を配布し、建設コンサルタントの「仕事と魅力」の理解促進を図るとともに、「業務・研究発表会」(8月富山開催)への聴講・参加の働きかけを行う



(建設コンサルタンツ協会北陸支部)

- ◆ 工業系高校の保護者との意見交換会を、実施高校を拡大して進路決定に影響力を持つ保護者に建設界のことを知ってもらうため意見交換会を実施予定
普通科高校への意見交換会の拡充を図るとともに、現場見学会を通して各校の普通科高校生に建設産業の社会的役割や魅力について広く理解を求める小学校のバザー等に建設ブースを設置し、ものづくり教室を実施予定



(石川県建設業協会)

- ◆ 「測量の日」の関連事業を県内の小・中学校の生徒を対象に「緯度経度と日本の測量について学ぶ」授業を実施。野外授業では、ドローンを使用した授業等を実施予定
工業系高校を対象に「測量設計の魅力・仕事の内容等で意見交換会」を実施予定



(石川県測量設計業協会)

- ◆ 工業系高校を対象に、地質調査業の魅力を伝える出前セミナーを開催予定

(石川県地質調査業協会)

- ◆ 普通科高校に向け

会社訪問や企業ガイダンス、現場見学会を実施(建設現場の見学や仕事の説明等を実施し、建設業に対する正しいイメージの定着を促し、建設業への入職意欲向上を図る)
教員・生徒との意見交換会(生徒に対する建設業のPRや企業で働く先輩との意見交換、教員と業界との意見交換等、建設業への入職促進に関する現状・課題等への理解を図る)(H29年度は県内全55校に高校訪問)



- ◆ 児童・保護者向け

子供向け土木イベント「はだしの王国」等のイベントを通じて、土木に対して親しみを持ってもらい、保護者に対しても建設業へのイメージアップを図る



(石川県)

- ◆ 現場見学会提案工事の実施

平成27年度から試行で取り組んでいる「現場見学会提案・実施モデル工事」(H27年度2工事、H28年度3工事、H29年度1工事)について、平成30年度も引き続き試行を実施予定
対象としては、工事実施地区の小学校、中学校、工業系の高校とする

- ◆ 教育関係者やマスコミを対象に現場見学会を実施

i-constructionの取り組みによる建設環境の変化を理解してもらうため、教育関係者やマスコミを対象とした現場見学会を実施予定
(建設界への理解と魅力を感じてもらい、参考として頂く)



(金沢河川国道事務所)

継続的な取り組み（石川県部会）

◆ 金沢大学の「土木建設防災マネジメント特別講演会」における取組

【◎金沢大学、石川県建設業協会、建設コンサルタンツ協会、石川県測量設計業協会、金沢河川国道事務所】

- ・担い手協議会石川県部会での取組の一環として、金沢大学の3年生、合計約70名を対象に、特別講演会を実施
- ・「建設の仕事」を道路事業を事例に、測量、コンサルタント、工事（改良・舗装）、国土交通省の各部門から金沢大学OB等が講師となって、就職のきっかけから現在の職務について紹介



約60名の学生が聴講



女性技術者への期待や職場環境への
取り組みについても紹介



講師は、建設界に携わる5名の
卒業生